

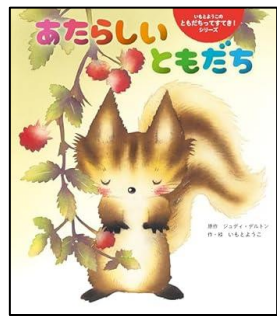


図書館員のおすすめ本



小学生

低学年（1・2年生向け）



『あたらしいともだち』

（いもとようこの「ともだちってすてき！」シリーズ）
ジュディ・デルトン：原作
いもと ようこ：文・絵 / 世界文化社

【内容紹介】

くまくんとうさぎちゃんはだいのなかよし。そこへ、りすちゃんがひっこしてきました。

りすちゃんと なかよくするうさぎちゃんに くまくんはちょっとおこってしまいます・・・。

3人の友だち関係が、いもとようこさんの ^{あた}温かい^は貼り絵^えで豊かに表現されています。

【図書館員からのコメント】

自分と仲良しの友だちが、他の友だちとなかよくなった時に、心がチクンとしたことはありませんか？そんな時は、くまくんのせつない気持ちと重ねて読んでみましょう。

中学年（3・4年生向け）



『使ってクール！ 外来語』

吉橋 通夫：文，たかいよしかず：絵 / 童心社

【内容紹介】

「和語」は日本にもともとあったことば。「漢語」は昔に中国から入ってきたことばです。そして、「外来語」とは、も

とは外国語であったものを、日本語としてつかうようになったことばです。もとになった外国語のことばと同じ意味でつかわれている外来語もありますが、それとはちがう意味でつかわれるようになったものもあります。もとの言語や語源を知って、クールな外来語マスターになろう！

【図書館員からのコメント】

意外な語源に驚いたり、なんとなく使っていたことばの意味を知ったりと、楽しく知識を身につけられますよ。

高学年（5・6年生向け）



『大人も知らない 世界の謎大全』

ネルノダイスキ：著 / ダイヤモンド社

【内容紹介】

地球の「日本」という国にめずらしいものを探しにきた宇宙人のふたり。ところが旅費をケチったばかりに、「ふつうの街」に到着してしまった！しかし、よく見ればまわりはふしぎなものだらけ。身近な「なぜ？」がわかる、世界がもっとおもしろくなる本です。

【図書館職員からのコメント】

地球をはじめて見る宇宙人には、目に映るものすべてが新鮮で不思議。わたしたちが身の回りでよく見るものの名前やしくみなどを、まんがで詳しく解説しています。

中学生



『正しく疑う』

新時代のメディアリテラシー

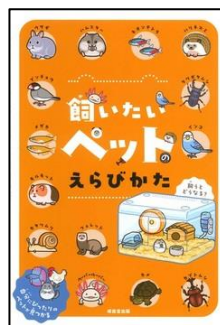
池上 彰：監修 / Gakken

【内容紹介】

スマートフォンひとつで発信者になれる今、情報の発信の仕方、受け取り方にはコツが必要です。身のまわりにあふれる情報との向き合い方を、マンガやイラストでわかりやすく説明します。何が正しいのか、自分の考えや行動は間違っていないのか。加害者にも被害者にもならず、この時代を生き抜くための一冊です。

【図書館員からのコメント】

うわさ話やインターネットで読んだニュースが、実は嘘や間違いだとしたらどうしますか？ さまざまなメディアから発信される情報の正しさを見抜く「メディアリテラシー」を身につけましょう。



『飼いたいペットのえらびかた』

成美堂出版編集部編著 / 成美堂出版

【内容紹介】

ペットは普段の生活にたくさんの楽しい時間や、いやしをあたえてくれる存在です。

本書では、ペットを飼ったときの幸せな暮らしがイメージできるように紹介しています。あなたにぴったりのペットを見つけるきっかけになるでしょう。

飼いやすさ、費用、手入れの手間など、飼うとどんな生活が待っているのか、読みながら選べます。

【図書館員からのコメント】

ペットを飼いたいけれど、どんなペットを飼ったらいいのかわからない…そんなこともありますよね。あなたにぴったりのペットが見つかるかもしれません。



『春 花散らす雨の記憶』

（怪談十二か月）

福井 蓮：著，

下田 麻美：挿絵・イラスト

あかみいと：装丁イラスト / 汐文社

【内容紹介】

怖くて不思議な話11話ですが、行事や風習に関連した話や日本ならではの美しい言葉、季節感も味わえる作品です。現代の怖い話だけではなく、平安時代や江戸時代などの話もちりばめられ、オリジナルでありながら色あせない作品で構成されています。

【図書館員からのコメント】

一話毎の文章量が程良く、気になった話から順に読んでみました。物悲しさやせつなさなど季節とリンクした情景が思い浮かんだり、「夏越の祓」といった日本古来の行事を知るきっかけになりました。怖いだけじゃない本です。